



形式:SPST-B-1000

基本取扱説明書 (代表的な測定方法)

ストリングトレーサ

ストリング測定 移動モード

測定手順①



本体のString-1 ヘトV プロブ (MC4 テストリード) を接続します。

測定手順②



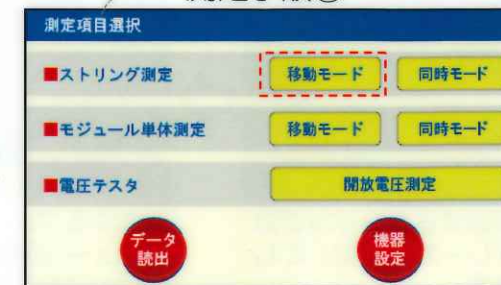
探查するストリングのブレーカを「切」にします。

測定手順③



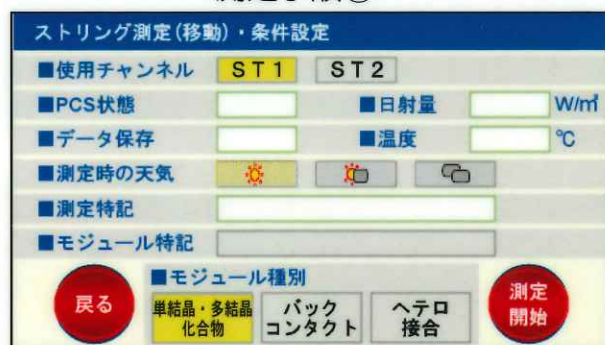
本体の電源を入れます。
【2 秒以上長押し】

測定手順④



移動モード をクリックします。

測定手順⑤



- 「使用チャンネル」 ST1 ST2 を選択します。
- 「モジュール種別」 単結晶・多結晶化合物 バックコンタクト ヘテロ接合 を選択します。
(図は 【ST1】、【単結晶・多結晶・化合物】 を選択)

その後、測定開始 をクリックします。

「ピピッ」と音がしたら測定を開始して下さい。

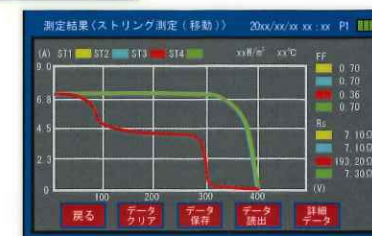
※測定特記に測定情報の入力が可能です。

測定手順⑥

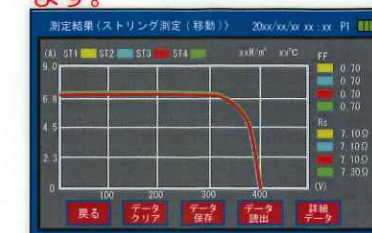


探查するブレーカのモジュール側の端子へ「ピッ」と音が鳴るまで接触させます。

※1 ストリング分の測定完了後、「ピピッ」と音がするまで、2 秒のインターバルがあります。
※測定が開始されない場合は、極性を確認して下さい。



異なる波形が見られる場合は、異常ストリングの可能性がります。



正常



形式:SPLC-A

基本取扱説明書 (代表的な測定方法)

セルラインチェッカ

(1) 磁界モード探査例 (ストリング構成確認・断線箇所特定)

測定手順①



探査するストリングのブレーカを「切」にします。

測定手順②



探査するブレーカのモジュール側の端子にクリップを接続します。

測定手順③



①探査対象モジュールの種類に合わせて感度設定して下さい。

【取扱説明書 16 ページ[表 5]】

(2) 電界モード探査例 (モジュール間接続の断線、接触不良箇所特定)

測定手順①



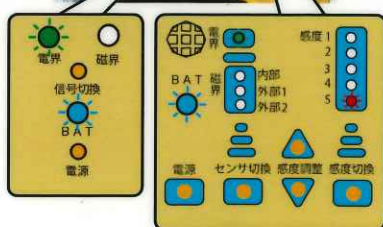
探査するストリングのブレーカを「切」にします。

測定手順②

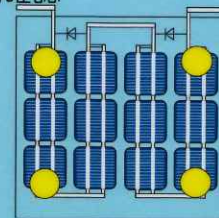


探査するブレーカのモジュール側のマイナス端子に赤のクリップを接続します。
黒のクリップはアース端子へ接続します。

測定手順③



ストリング構成確認



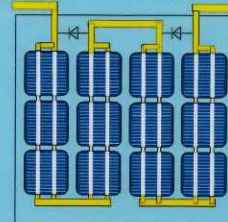
受信器先端をモジュールの四隅のバスバーへ当てて下さい。



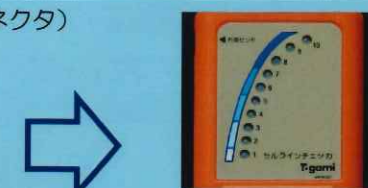
※光とブザーで反応があれば対象ストリングです。

反応がなければ対象ストリングではありません。

断線箇所特定 (バスバー・インターコネクタ)



受信器先端をモジュール面のバスバー・インターコネクタへ当てて下さい。



※光とブザーで反応があれば正常なバスバー・インターコネクタです。

反応がなくなる箇所があれば断線箇所です。

モジュール間接続の断線、接触不良箇所特定



接続ケーブル探査



モジュール表面探査



※光とブザーで反応があれば接続に問題ありません。

反応がなければモジュールに含まれる回路にて断線の可能性があります。